

你好

38号

中国語を学ぶ会

2018年1月

第38号発行

連絡先

渡邊 090-8588-2430

45周年を迎えて『中国語を学ぶ会』新たなチャレンジ

会長 渡邊 敏行

日本語と中国語との微妙な違い

先日老師から伺った話

外務省が先日発表：「皆さんこんばんは。外務大臣の河野太郎です。程永華大使閣下、御臨席の皆様、本日、これまで日中関係の発展に多大なる御貢献をされてきた皆様方と御一緒に、こうして日中国交正常化45周年、そして中華人民共和国成立68周年をお祝いできることを、心から喜ばしく思っております。1972年9月29日、北京で日中共同声明が署名され、日中両国は歴史の新たな一頁を開きました。・・・・・・・・・・」

1972年9月25日に、田中角栄内閣総理大臣が現職の総理大臣として中華人民共和国の北京を初めて訪問して、北京空港で出迎えの周恩来國務院総理と握手した後、人民大会堂で数回に渡って首脳会談を行い、9月29日に「日本国政府と中華人民共和国政府の共同声明」（日中共同声明）の調印式において、田中角栄、周恩来両首相が署名したことにより成立した。

しかし、この時の通訳の訳し方の違いが、この後の日中関係 とりわけ中国人に与えた感情的な印象が悪化し、ギクシャクしました。

「**大変遺憾**」：日本語では最大限の謝りを言っていると思いますが、中国人にとっては謝ったことにはなりません。

大変遺憾 ⇒ **大変残念**（中国語では⇒自分に対し） **しかしこのまま遺憾と訳した中国語では：** **抱歉⇒申し訳ない** **非常抱歉⇒大変申し訳ない**

・・・でなければならない。これが微妙な国と国との言葉による感覚の違いです。我々「中国語を学ぶ会」の会員としてまだまだ勉強しなければならない事が沢山あることを感じさせられました。

「中国語を学ぶ会」ホームページアドレス：

<http://www.manabukai.sakura.ne.jp/> **请大家上网查询**

役員は次の通りです。

会	役	職	氏	名	ク	ラ	ス
会		長	渡 邊	敏 行	火		曜
副	会	長	小 野 寺	登	火		曜
会		計	薄 井	則 久	火		曜
会	計	監 査	鳥 沢	光 代	木		曜
火	曜	役 員	薄 井	則 久	火		曜
火 曜 役 員	(会 計)		清 田	美 智 子	火		曜
水	曜	役 員	蜂 屋	和 男	水		曜
水 曜 役 員	(会 計)		泉	初 代	水		曜
木	曜	役 員	石 崎	正 一	木		曜
木 曜 役 員	(会 計)		中 島	良 光	木		曜
ホ ー ム ペ ー ジ 担 当			渡 邊	敏 行			

会員のおはなし

大家好！

我叫野浦公介。

5月末より月曜クラス、7月より火曜クラスに参加させていただいています。

私がこちらの会を知ったきっかけは、中央公民館に落語会のチケットを購入に行ったとき、偶然皆さんが餃子を作るイベントをされているのを見かけたことで、その後ネット検索して会長にメールさせていただきました。

私は塗料メーカーの技術者で、2012年頃から何度も中国（上海近郊、北京・天津、広東省など）へ出張していましたが、毎回現地で話すのは、日本人駐在員か通訳担当の人ばかりで、現地スタッフとのコミュニケーションはほとんど取れていませんでした。

これをもどかしく思い、2015年から、単身赴任先の兵庫県の会社で開講されていた、週1回45分間の中国語初級クラスに参加するようになりました。仕事の都合で半分程度しか出席できていませんでしたが、覚えたフレーズを次の出張時に試してみたりしていました。

2017年4月に単身赴任を終え平塚に戻ることにになり、中国語の勉強を続けたいなと思っていたところに、こちらの会に出会い、参加させていただいたという次第です。

中国出張の機会は減ってしまいましたが、いつか役に立つときが来るかな？と考え中国語の勉強を続けようと思っています。

いつまで経っても初級レベルから上達しないと思いますが、皆さんよろしくお願いいたします。

谢谢。

中国鉄道大紀行 36000Kmを行く

星期三班 蜂屋和男 (TV 参考)



スタートは拉萨、ゴールは喀什

総延長 36543Km

乗車時間 587時間11分

総延長 3654km

乗車時間 587時間11分

中国の地図上で中国全土の鉄道の旅をしましょう。

1. lā sa
拉萨 → ・チベット自治区の区都

2. lan zhou
兰州 → ・カンシュクショウ 甘肅省 の省都.黄河が街の北を流れている

かつては河西回廊へ向かうシルクロードと青海ルートの分岐点になっていた交通の要衝

・見どころは白塔山公園、甘肅省博物館、五泉山公園など

3. tian shui
天水 → ・天水⇒雨ごいをすると天から水が注がれたという伝説がある。
・甘泉寺⇒詩人杜甫がおとすれたことがある北魏時代「4～6世紀」に建てられた寺
4. bao ji
宝鸡 → ・陝西、甘肅、四川3省の物資の集散地。省の工業中心地の1つ
5. han zhong
漢中 → ・三国時代、蜀、魏の争奪の的となった。
・近くに諸角孔明の墓で知られる勉県がある
6. lye yang
略陽 → ・陝西省南部 人口21万の街
・灵岩寺 -天然の岩穴に築かれた石窟寺院として知られている
7. yang ping gu
陽平關 → ・人口2万5千。古くから長安と成都を結ぶ交通の要衝
8. an kang
安康 → ・灵芝：苔の生えた湿った場所ではしか取れない。
3000mの高い山に有る。
・コン湖：水不足解消と発電のため20年前に作られたダム湖 湖底には1万戸の家が沈んでいる
9. da zhou
达州 → ・达州好吃街⇒本場四川料理の飲食店街
10. nan chong
南充 → 四川省の蚕生産、シルク工業の中心地
11. sui ning
遂寧 → 四川名物涼面——山椒と油たっぷり卓筒井--900年前に作られた塩水の井戸；30mの地下から栓ら栓をした筒でくみ上げる
12. chong qing
重慶 → 重慶の人口およそ2800万人。中国で一番多い。鉄鋼などの重工業で発展、直轄市（中央政府が直接に管轄する市）中国には北京、上海、天津、重慶の4都市がある重慶は古くは長江の水運の拠点として栄えた
13. tao zi
桐梓 →
14. gui yang
貴陽 → 人口およそ350万、貴州省の省都。少数民族が多く暮らす地域
15. nei jiang
内江 → 内江は中国を代表する近代画家張大千の故郷。内陸ののどかな町
16. cheng dou
成都 → 四川省の省都。成都是近代的なビルと古い町並みが共存する古都 成都名物～耳かき師
17. se mei
峨眉 → 峨眉山中国仏教の4大名山に一つ。峨眉山景区（世界遺産）
峨眉山は自然遺産にも指定されている。標高1000mまでロープウェイで登る。

- “为了中日民间的友好我来到这里并且见到了您”

• 成昆鉄道は標高2300mまで登る。世界有数の山岳鉄道。トンネルは427本、全路線の3割。総延長1100kmを18時間で以上で走る
- 18. kun ming 昆明 →

 - 海拔1700m。人口およそ500万人。雲南省の省都。
 - 年中穏やかな気候で「春城」と呼ばれる
 - 昆明近郊の景勝地石林総面積400平方メートル様様な形をした奇岩で有名
 - 石林の奇岩は風雨による浸食で作られたカルスト地形
- 19. hong guo 紅果 →

 - 貴州省の西端に位置する。人口およそ9万人。主な産業は石炭
 - 城壁⇒ 600年前明の時代に作られたもの。かつて中国には町を守るために城壁を築いた都市がいくつもあった
 - 城関⇒貴州省と雲南省を結ぶ山間の要衝
- 20. wei she 威舍 →

 - 威舍は工場があり労働者の姿が目立つ
- 21. bai se 百色 →
- 22. nan ning 南寧 →

 - 广西チワン族自治区の区都。人口およそ280万人
- 23. li tan 黎塘 →
- 24. yu lin 玉林 →

 - 広西チワン族自治区の南東部にある人口およそ70万。繊維産業が盛ん
 - 羽毛画⇒アヒルや鶏の羽毛を貼って描く中国の伝統工芸
 - 玉林は昔から羽毛が盛んだった
- 25. mao min dong 茂名東 →

 - 広東省西部の工業都市。人口およそ120万
 - 南シナ海は中国で最も美しい砂浜の1つ。
 - 南シナ海貝の種類が豊富なことで知られる。貝を用いた工芸品は広東省の名物
- 26. zhan qing 肇慶 →

 - 広東、西江下流の重要河港
 - 有名な端溪の硯を産する
 - 「七星岩風景区」⇒七つの山と湖からなる美しい風景で知られる湿地に鶴が放し飼いされている
 - 中国でも鶴は長寿と幸福の象徴
- 27. guang zhou 廣州 →

 - 中国第三の都市。人口およそ700万、北京、上海と共に中国経済を引っ張る大都市

- ・ワニは主に熱帯地域で食されている
- 28. shao guan 韶 关 → ・人口およそ90万、広東省北部の経済の中心地；冶金工業が盛んで、交通の要衝でもある
- 29. heng yang 衡 阳 → 湖南省第2の都市
- 30. gui lin 桂 林 → ・桂林には年間1300万人の観光客が訪れる
・石灰岩の岩山が風や水で浸食された山水画の景観が生まれた
・「象の鼻」と呼ばれる岩山
・桂林の絶景は「甲天下」（天下一）と称賛されてきた
- 31. liu zhou 柳 州 → ・人口およそ97万人；漢の時代から栄える歴史の街
・棺桶が有名なため“死在柳州”と言われる
・柳州名物棺桶をした小物入れ；縁起物として商売する人に人気
；印鑑を入れることが多い
・棺桶（グアンツアイ）の発音が官（グアン）と財（ツアイ）と同じでおみやげの棺桶には「昇宮発財」＝地位向上、財運繁盛の意味；書いてある
- 32. ma wei 麻 尾 → ・人口2万1千人；山間の田園地帯
・小七孔＝7つの美し池と滝で知られる
・卧龙漂＝水に溶けた石灰岩の粒が太陽の光を青く反射させる
- 33. gui ding 貴 定 → ・少数民族プイ族の村；2千人が稲作、菜種作りなどで暮らす
- 34. kai li 凯 里 → ・少数民族ミア族の村；瓦屋根三階建ての家が特徴
- 35. huai hua 怀 化 →
- 36. zhang jia jie 张 家 界 → ・湖南省北西部・石英質の砂岩が浸食を受けて多くの奇峰、滝などかを形成、
・武陵源＝長い年月、風に浸食された石灰岩の奇峰が立ち並び海拔1000mを超える峰々が連なる
- 37. shi men shen 石 門 省 →
- 38. jing men 荆 门 → ・人口およそ70万人；国の経済技術開発区に指定され、外国企業も進出している
・湖北；石油加工業が盛ん
- 39. xiang fan 襄 樊 → ・人口およそ200万人；城壁の中には明の時代の街並みが修復され今に残る

- ・ 3つの鉄道が交差する水陸交通の要衝
 - ・ 紡績、自動車などが盛ん
 - ・ 近くに諸葛孔明の遺跡「古隆中」がある
40. shi zhou 随州 →
41. han kou 汉口 → ・ 人口およそ800万；国有企業が集中する都市
42. chang sha 长沙 → ・ 湖南省の省都；歴史が古く、2000年以上前漢時代にすでに长沙国置かれていた
43. lou de 娄底 → ・ 物産が豊かで、魚米の里とも呼ばれている
- ・ 人口およそ400万の工業都市；半導体などに使われるアンモニア大産地
- ・ 明代から伝わる紙細工「剪紙」＝結婚式などお祝いや旧正月に窓に貼る；魚の作品が多い；中国では「魚」は「余」と同じ発音で「有り余る福」を表しめでたい
44. zhu zhou 株洲 → ・ 湖南省；3つの幹線が交差する鉄道交通の要衝で、鉛、亜鉛工業を中心とする重工業都市
45. xiang tang 向塘 →
46. ji an 吉安 → ・ 革命の聖地、井冈山への中継地
47. long chuan 龙川 → ・ 漢の時代から津木菟古い町
- ・ “学而时习之”＝学んで時にこれを習う
- ・ “三人行，必有我师焉”＝三人行く時は必ず我が師あり
48. zhang ping 漳平 → ・ 福建省は西南部にある地方都市；人口27万人
- ・ 圆楼＝建てられたのは230年前；昔は飼っていた豚が虎に襲われた；猛獣や山賊から財産を守るために作った建物；広い中庭は、住民共有の生活の場
- ・ 福建省は山が多「東南山石」と呼ばれている
49. san ming 三明 → ・ 新興の工業都市；人口270万
- ・ 製鉄、石炭業などをバックに急速に発展
50. nan ping 南平 → ・ この地方は南宋時代に陶器の名品を生み出したことで有名
51. wu yi shan 武夷山 → ・ 海拔600m前後の奇山奇峰が連なる景勝地；福建第1の名山で、天遊峰の眺望と九曲溪の筏下りが見どころ

- 52. heng feng 横峰 →

 - ・特産は武夷岩茶；大紅包＝香りが強い
 - ・中国の諺；60歳には金を貸すな、70歳は家に泊めるな
- 53. gui xi 贵溪 →
- 54. huang shan 黄山 →

 - ・人口40万；2000年以上の歴史ある古い街
 - ・黄山＝奇松、怪石、雲海、温泉を《黄山四絶》とゆう
 - ・昔から絵画に描かれ、詩に詠われた文人好みの景勝地
 - ・1990年に世界複合遺産に
- 55. xuan cheng 宣城 →
- 56. hang zhou 杭州 →

 - ・人口40万；古くは南宋の都；現在は海外企業が進出する国際都市
 - ・西湖＝中国には各地にあるが、南宋の都だった杭州に有る西湖が最も有名
- 57. shang hai 上海 →

 - ・人口1360万；中国の市場経済を引っ張る国際都市
 - ・“黄浦江”とその支流の“吴淞江”が流れる。二つの川が二つの川が合流する外灘付近から吴淞口（長江との合流点）までの黄浦江沿いに中国最大の上海港が分布する
 - ・浦東地区＝経済成長のシンボル
 - ・外灘＝租界当時の建物がある
- 58. nan jing 南京 →

 - ・江蘇省の省都；長江に面した江南地域の政治、経済の中心
 - ・4大古都の1つで、多くの王朝がここに都をおいた；見どころは明孝陵、中山陵、长江大桥、中华门など
- 59. wu hu 芜湖 →

 - ・人口71万；経済開発区に指定；伝統工芸「鉄画」の発祥地として有名
 - ・「鉄画」＝明朝末期から400年続く伝統工芸、一本一本の線や人の形まで鉄の細工で表現
- 60. he fei 合肥 →

 - ・安徽省の省都；多くの古戦場があったが、近年は軽工業年に変貌
- 61. an qing xi 安庆西 →

 - ・安庆；人口73の古都、今では石油産業が盛ん
 - ・安庆は長江下流の水運の拠点として800年前に作られ発展してきた

62. jiu jiang 九江 → ・江西、長江中流の水陸交通の要衝；市の南に有名な“廬山”がある
63. ma cheng 麻城 → ・人口 116 万；田園地帯の中にある街；栗や桃の栽培が盛ん
64. huang chuan 潢川 → ・人口 78 万；長江の支流沿いの街；農業と漁業が中心
65. xi xia 西峡 → ・美しく豊かな水で知られる“石門湖”-休闲度假好去处
 ・この地方は例年3分の1しか降水量がない
 ・老君洞=この中で孔子が60年修行したという伝説がある
66. xi an 西安 → ・西安（かつての長安）漢、隋、唐など歴代の王朝の都として2000年以上の歴史を持つ都市
 ・全長13キロに及び巨大な城壁が今でも街を取り囲む
 ・城壁は外敵の侵入を防ぐため門は二重になっている
 ・千数年前遣唐使として多くの日本人がこの街を訪れた
 ・シルクロードの出発点としてにぎわった街
 ・西安は内陸鉄道の拠点
67. zhang qiao 张桥 → ・人口 4 万；陝西省の村
68. han cheng 汉城 → ・党家村240世帯が暮らしている；村の歴史は元の時代に始まり清の時代に今の姿になった
69. hou ma 侯马 →
70. hua shan 华山 → ・中国で崇拜された五つの霊山；道教の聖地の1つで、主峰は海拔
71. luo yang 洛阳 → ・後漢や北魏などの都市として栄えたいにしへの都；人口 150 万
 ・世界遺産「竜門石窟」-繁栄得を残す遺跡；崖に大小無数の穴が有り中には岩肌を削って作った仏像がある；遺跡全体で10万体の石仏が有る石仏の多くは五世紀から九世紀のもの
 ・中国では度々仏教の弾圧が有り仏像が破壊された
72. bao feng 宝丰 →
73. zheng zhou 郑州 → ・湖南省の省都；人口 259 万；綿紡織などの工業が盛ん
74. fu yang 阜阳 → ・安徽省の中核都市；人口 185 万
 ・淮河と長江を結ぶ水運の町

75. beng bu 蚌埠 → ・人口 450 万；機械、鉄鋼、化学工業が盛ん；銅を産出
 することで知られている
 ・醉翁亭：北宋の文人
 ・欧阳修が中央から左遷された場所
 ・醉翁亭：（1007～1072）李白や杜甫と並ぶ
 人；自然を愛し詩や文章を残した
76. chu zhou 滁州 →
77. yang zhou 扬州 → ・江蘇、長江以北の基点；玉器、漆器が特産
78. hai an xian 海安县 → ・人口 95 万；養蚕が盛ん
79. zhun an 淮安 → ・人口およそ 50 万；周恩来の故郷
80. chu zhou 除州 →
81. yan zhou 兗州 → 山東省にある；山東省は孔子、孟子、諸葛孔明をうんだ
82. qu fu 曲阜 → ・儒教の祖孔子の故郷；人口およそ 60 万
 ・孔子を祭る世界遺産「孔廟」；正殿までは幾つもの門
 をくぐる
 ・弘道門＝この門をくぐると孔子の弟子になる
 ・杏壇＝孔子が弟子を教えた所；孔子が学問を講じた周
 りに杏の木あったからいう
 ・孔子は白目が大きく鼻が上を向き出っ歯だったと言わ
 れている
83. jiao zhou 胶州 →
84. wei fang 潍坊 → ・山東省；古くから手工業が発達：凧、木版画などの民
 芸品が有名
 ・潍坊の凧は中国三大凧の 1 つ；木版画に糸を付けて飛
 ばしたのが始まり
85. zi bo 淄博 → ・戦国時代の「齊」の地；陶磁器の産地、博山が有る
 ・石油、冶金などの重工業も盛ん
86. tai shan 泰山 → ・道教の聖山として知られ世界遺産にも登録されてい
 る；標高およそ 1500m；

87. tian jin
天津 →
 ・山頂近くに赤壁の道教寺院が有る；麓からの石段は7000段
 ・中国の一級行政区の1つで省と同レベル；北京、上海、重慶とならぶ中央直轄市の1つ
 ・津の市名は明の永楽帝がおいの建文帝と帝位を争ったとき、北京からこの地を通して南京に下ったことに由来する
 ・天津とは天子の馬車が渡った所という意味である
88. ren qiu
任丘 →
89. he ze
菏泽 →
 ・人口87万；武術の町として有名；60武術学校に全国から生徒が集まる卒業生は映画や雑技団のスター、スタントマンやガードマン
90. xin xiang
新乡 →
91. han dan
邯鄲 →
かんたん い かんたん ゆめ こじ どうきょうてら
 ・邯鄲と言えば「邯鄲の夢」の故事ゆかりの道教寺がある
 ・邯鄲の夢の意味＝仙人が邯鄲の宿で男に枕を貸してあげた；その枕で寝た男は夢の中で試験に合格、美人と結婚し豪華絢爛な50年を過ごした。目が覚めたら寝る前に炊き始めたご飯がまだできていなかった。男は人生の短さにきずき修行の道に入った
 ・人生は夢のようにはかないと言う意味
92. chang zhi bei
長治北 →
93. yu ci
榆次 →
 ・ヤオトンの村；60世帯190人が暮らす
94. shi jia zhuang
石家庄 →
 ・河北省の省都；北京を取り囲むこの省の政治、経済、文化の中心地
 ・周りには文化財が残っている；臨濟寺、降興寺、栄国府など
95. fehng tai
丰台 →
 ・丰台は北京市南西部のベットタウン
96. wu tai shan
五台山 →
 ・山西；中国四大名山の1つ；標高3058m；峨眉山、天体山とともに中国仏教の三大霊場の一つ
97. yuan ping
原平 →
 ・山西省は世界有数の石炭産地；石炭を運ぶトラックで大渋滞；渋滞を避けて川を渡るトラックも；山西省の石炭は日本に輸出され発電所などで使われている

98. da tong 大同 →
- ・大同は5世紀、北魏の都だった；
 - ・山西、中国最大の石炭工業基地；大炭鉱がある雲崗石窟が世界遺産；岸壁を掘った仏像が並ぶ；幅1 kmの断崖に大型の石窟だけで50有る；北魏の時代に一大事業として造営された
 - ・雲崗石窟のシンボル如来坐像
 - ・最大規模の第6窟＝無数の仏像が壁を埋め尽くす；四方の壁には釈迦の生誕から入滅までの物語が彫られている
 - ・仏像が黒ずんでいるのは、表面の汚れは石炭で、汚れは完全には取り除けない炭鉱が近いので粉塵は避けられない
99. sha chang 沙城 →
- ・列車は北京市に入った；山の稜線に見えてきたのは万里の長城；全長6000Km
100. chang ping 昌平 →
101. huai rou bei 怀柔北 →
102. chi feng 赤峰 →
103. ye bai shou 叶柏寿 →
- ・叶柏寿の周辺は化石で有名；最も初期の鳥類の化石が見つかった
104. xin li tun 新立屯 →
105. jin zhou 锦州 →
- ・東北第三の港がある；古くから軍事、交通の要衝；石油工業が盛ん
106. san shi jia 三十家 →
107. xia ban cheng 下板城 →
108. shang ban cheng 上板城 →
109. huai rou 怀柔 →
- ・怀柔は万里の長城が近い；リフトに乗って万里の長城に行ける
110. bei jing 北京 →
- ・中華人民共和国の首都；中央政府直轄市
 - ・遼陽・金・元・明・清の都として繁栄；
 - ・明代になって北京となり、1928～1938年は国民政府が成立して北平(bei ping)と呼ばれた

- 111. qin huang da 秦皇島 →
 - ・旧内城中心の紫禁城は故宮博物院になり、その南に人民大会堂、天安門広場が有る
 - ・人口76万；港町、保養地で知られている；
 - ・海に突き出た「老龙头」は万里の長城の東の端・万里の長城はここから西へ6000Km続く
 - ・中国最大の石炭・石油の積出港
- 112. pan jin 盘锦 →
 - ・十数年前は全部砂漠だった；乾燥地域の緑化には日本のNGOなども協力している
- 113. liao yang 辽阳 →
 - ・化学繊維工業が盛ん；市内には辽代の白塔が残る
 - ・付近の首山は日露戦争の激戦地
- 114. ben jin 本溪 →
 - ・鉄鉱石、石炭を産出し、「本溪製鉄所」ある；連休中でも製鉄所は休まない5万人以上が働いている
 - ・観光地「本溪水洞」が有名
- 115. shen yang 沈阳 →
 - ・東北地区の第一の工業都市；奉天と呼ばれ満鉄を使って戦前日本が実質的に支配した
- 116. si ping 四平 →
- 117. mei he kou 梅河口 →
- 118. ji lin 吉林 →
 - ・中国最後の王朝・清を立てた満州族の祖地；1932年、日本は溥儀を元首とする傀儡「満州国」を作り、長春を「新京」改称し、首都とした
 - ・中国最大のトウモロコシの産地として有名
- 119. chang chun 长春 →
 - ・人口724万；吉林省の首都；かつて「満州国」の首都で、新京と呼ばれた
 - ・路面電車が走る緑豊かな都市；現在は自動車産業や映画産業が盛ん
- 120. da an bei 大安北 →
- 121. ran hu lu 让胡路 →
- 122. ha er bin 哈尔滨 →
 - ・黒竜江省の首都；人口970万；およそ100年前ロシアによって築かれた
 - ・かつてロシア人が多く住んでいたためその面影が残っている
- 123. tu men 图门 →
 - ・北朝鮮との国境の町；人口14万、朝鮮族の人々が多く暮らす

124. mu dan jiang 牡丹江 → ・中国屈指の農業地帯；
・旧満州時代多くの日本人が開拓団として入植した
125. ji xi 鸡西 → ・鸡西は稚内とほぼ同じ緯度

・鸡西は中国各地から来た一万人が日本語を学ぶ
126. lin kou 林口 →
127. bo li 勃利 → ・近郊には、ロシア国境まで広大な針葉樹林が続く
128. jia mu si 佳木斯 → ・中国で最も早く太陽が昇る所
・ 国境を越えて買い物ツアーにやって来るロシア人が多い
129. sui hua 绥化 →
130. fu yu 富裕 → ・人口およそ30万の農業の町
131. jia ge de qi 加格达奇 → ・内モンゴル自治区
132. za lan tun 扎兰屯 → ・内モンゴル自治区；中国（旧満州）最奥の地域
133. nian zi shan 碾子山 →
134. yu shu tun 榆树屯 →
135. bai cheng 白城 →
136. zheng jia tun 郑家屯 →
137. tong jiao 通辽 → ・郊外に足を延ばすとこの地域は30年ほど前から砂漠化が進んでいる
・砂漠化を防ぐため防風林が植えられている
138. sang gen da ya 桑根达牙 → ・モンゴル族人たちが住む「乳牛村」と呼ばれる集落
139. hu he hao te 呼和浩特市 → ・内モンゴル自治区の区都；
・市内は草原の中の都市とは思えないくらいビルが建ち並び、近代都市に変貌しているが、郊外には大草原が広がる
140. zhong wei 中卫 → ・ゴビ砂漠（モンゴル砂漠）は、内モンゴル自治区からモンゴルにかけて広がる砂漠

- 世界で4番目の大きさを誇る
- 141. wu wei 武威 →
- 142. zhang ye 张掖 →
 - 1800年前後漢の時代の城壁の跡；5000人兵士と城壁に守られた街は8世紀滅亡した
 - 北の山並みの向こうは内モンゴルの高原地
 - 南北を山々に挟まれた「河西回廊」は1000K 続く
- 143. jia yu guan 嘉峪关 →
 - 嘉峪关は明の時代の長城の西端
 - 長城は風雨にさらされ朽ちている
 - 長城は切り立った渓谷に突き当たって終わっている
 - 河西回廊の喉元と呼ばれた嘉峪関の関所
- 144. liu yuan 柳园 →
 - 柳园は敦煌観光の入り口
 - 乌沙山にはシルクロードの面影を残す砂丘が広がっている
- 145. dun huang 敦煌 →
 - 敦煌はかつて沙州と呼ばれた砂丘の街
 - 西遊記に登場する火焰山；気温が50度を超える時もあるシルクロードの難所
 - 赤い山肌に夏は陽炎が立ち炎のように見えることからその名がついた
- 146. tu lu fan 吐鲁番 →
 - 新疆；ブドウの産地で特に白ブドウが有名
- 147. ke er bi 科尔比 →
- 148. qiu ci 龟兹 →
 - 新疆ウイグル自治区の庫車県一帯. 三蔵法師が立ち寄ったという街
- 149. a ke su 阿克苏 →
 - アクスは綿花栽培の中心地: 郊外には一面綿花畑が広がる
- 150. ka si 喀什 →
 - カシュガルはシルクロードのオアシスとして栄えた街; 旧市街地はそのいにしへの時代の入口
 - 3600Km の列車の旅が終わる; 最長片道ルート of 終着点

老 师

星期三班 蜂屋和男

我在中国学习会有 5 个老师。都是女性。

第 1 个是 江老师，她皮肤很漂亮的。

第 2 个是 田老师，她从横须贺市来上课。

第 3 个是 李老师，她爱国心很强、倔强的女性。

第 4 个是 若山老师，她是日本人。因为她是中国残留孤儿，不大能理解日语，因此上课只用中文。

第 5 个 是现实的李老师，好好儿学习，通过现在的中国状况能愉快学习。

在 5 个人老师中是第一名。

她们当妈妈啦

星期二班 薄井则久

2010 年我和学习汉语的伙伴们一起去了厦门和武夷山旅游，并访问了厦门理工学院，和学习日语的中国学生进行了交流。

对于刚学习汉语的我来说，用汉语打招呼和介绍自己已经是尽全力了。

在交流会上，在旅途中，在安排行程的旅行社中结识了很多朋友。

那次旅行已经是 7 年前的事情了，她们也渡过了 7 年的岁月时光。如今都有了幸福的家庭，身边都有可爱的孩子围绕，都成了出色的妈妈。

幸福的妈妈们还为我们介绍了她们的孩子。

【苏州住在 赵英】

大家好！我叫赵英，出生于中国江苏省苏州市。还记得 2010 年 6 月，在厦门鼓浪屿的游船上与薄井さん偶遇。至今一直保持联系，其实非常难得。7 年可以改变很多，当年的我才刚踏入这个社会，如今的我已结婚生子。虽然我扮演着多种角色，但是我也还是 7 年前那个在游船上与大家相识的我。当时和大家还有一张合影，不知是否还记得？

我现在有一个儿子，叫杜承泽，出生于 2011 年。他从四周岁就开始学习钢琴，非常喜欢音乐。他还有个妹妹叫赵



千语，出生于2013年。我现在是一个幸福的妈妈，不过有时候面对孩子们的调皮捣蛋也是束手无策。只能跟着孩子们一起在学习中学会怎样当一个好妈妈。

今年圣诞节哥哥有一个愿望是：天上掉下来很多好吃的……而妹妹的愿望是：去参加吃巧克力的比赛……在我们大人看来孩子的愿望既天真又简单。而我的愿望是：希望他们一生健康，开心无忧！

所谓“有朋自远方来，不亦乐乎”大家有机会来苏州玩哦～

【深圳住在 周甜甜】



我女儿叫蔡佑彤。

还有一个多月佑彤就2岁了，她很贪吃，吃完饭还要吃零食，各种吃的都喜欢，所以长的胖乎乎的，但是作为女孩子我有点担心，毕竟现在的食品不太健康，都是添加剂，防腐剂之类的。她现在还不是很会说话，只会一些简单的语言，比如爸爸妈妈。而且佑彤现在比较调皮，总是要玩手机，这样对视力不好。她有很多自己的想法，对玩具，衣服，鞋子她有她喜欢和不喜欢的。作为父母，有了孩子真的好多事情需要操心。

【桂林住在 邹进】

白天根本没有时间整理头绪来写，一个小不点儿占用了生活的大部分时间，影响我干我自己的活---我昨天跟我爸这样说，我爸说：上帝给你一个孩子，那就是宝啊，花钱不是理所当然的嘛，该好好珍惜。想想也对。

3月4日出生，一个陌生的小孩趟在我身边，我看着他好陌生，不会笑，只会哭，要么就睡觉，说心里话，当时一点当妈的感觉也没有。到现在过去9个多月了，这个小不点儿要求渐渐多了，也会逗我们笑了，越来越觉得还是我自己的小孩可爱（可能这是绝大多数妈妈的想法吧）

这9个月中，酸甜苦辣都有。

刚出生一回到家，一下子不适应新的生活，真真切切觉得照顾小孩太累了，想不通那些生几个孩子的家庭，妈妈太辛苦了。每次每次的晚上醒来照顾小孩，看见爸爸在打呼噜，我真的是太气愤了，严重的觉得心里不平衡，再加上孩子的爸当爸爸的感觉来的特别慢，一开始的时候什么都不帮我做，我真是又累又生气，所以头几个月的几乎总吵架，最近几个月，孩子慢慢大了，我看着爸爸看儿子的眼神，他已经有满满的父爱了，最近他变得特别勤快。

作为又要照顾孩子又要上班的中国妈妈来说，生活有时候好艰难，想哭的感觉，可是当你一回到家，那个小不点儿朝你兴奋的叫，真的觉得什么都值得了。



我爱着我的儿子，而同时，我也是父母的女儿，想想当年我就是这样被父母的爱包围着长大，我也是幸福的，因为生小孩，一年没有回老家了，现在小孩不会走路，老家又远，所以今年春节也不能回去了，计划明年夏天回老家去，让姥爷姥姥看看他们的小外孙。很想念老家的爸爸。

不知道写了些什么，随便写的，只是说些感慨而已。

父母，儿女，兄弟姐妹，只此生的缘分，要好好珍惜。

备注：以前叫豆芽，因为名字有点奇怪，所以豆芽的奶奶不跟着叫，后来奶奶给取名叫【小8】，因为家族里面排行老八。

我们见到你们是在七年前。



新装月曜クラスの紹介と参加のお勧め

星期二班 久保田 利昌

新月曜クラスがスタートし既に1年が経過しました。新月曜クラスは“どの様な運営”をされて、その“授業のレベルと内容”はどの様なものか？ほとんどの会員方はご存知ないかと思えます。（会員参加者は、渡邊会長・小野寺副会長・野浦氏と久保田の4名）

今回、月曜クラスの状況を知って頂き皆様の中国語のブラッシュアップに・中国語圏の旅行に少なからずお役立ちになるのではと思いご紹介したいと思います。

「新月曜クラスのコンセプト」

- * 発音の基礎から学べる（長年の慣れ過ぎた発音を矯正できる）
- * 簡単な単語からステップアップ（忘れていた基礎単語を思い出し・学び直してできる）
- * 簡単な構文を繰返し練習（文法は後付け・基礎構文を覚え込む）
- * 各章（課）の会話文章を覚え込む（ロールプレイで身に着ける→体にしみ込ませる）
- * 講座は1クール10回で完了。会員・非会員誰でも参加できる

↓

【1回1コイン=500円で、旅行に・買物に・道案内（地図確認）に現地で役立つ中国語】

『実際の授業内容は』

- *テキストは“できる・つたわる コミュニケーション中国語（白水社）”
- *場面テーマ毎全 18 課の構成。発音（ピンイン・声調）練習は前章で実施
- *各課はテーマ毎に“ダイアログ（A/B の会話・イラスト付き）・文法ポイント・練習 1（イラストを踏まえその状況を中国語に変換）・練習 2（ヒアリング）・最後に・

试试看（対話の状況説明を基に頭初の中国語ダイアログを即答ロールプレイ実施）

- * 1 回の講座で各課 4 頁構成をほぼ完了している（1 クール 10 回で 10 課のペース）

「簡単なロールプレイのご紹介」

実際の授業で行っているロールプレイを試してみましょう（试试看）

下記の状況（条件）を踏まえて中国語の会話に変換を（皆様には易しすぎますね）
例文Ⅰ；出来事を尋ねる → “夏休み何をしたかを尋ねる”

- | | |
|------------------|----------------|
| A1；夏休みどうだったかを尋ねる | B1;楽しく過ごしたと答える |
| A2;どこへ行ったかを尋ねる | B2;北海道へ行ったと答える |
| A3; 友達と行ったのかと尋ねる | B3;家族と行ったと答える |

状況を踏まえて中国語で対話文に変換し口に出して話してみましょう。

例文Ⅱ：進行状況を尋ねる→ “（レポート作成の）進行状況を（電話で）尋ねる”
2/2

- | | |
|--------------------|------------------------|
| A1； 何をしているのか尋ねる | B1;している事（レポート作成中と）答える |
| A2; まだ終わってないのか尋ねる | B2;状況（まだちょっと残っていると）答える |
| | 相手の状況を尋ねる |
| A3; すでに作成し終わったと答える | B3;羨ましい気持ちを伝える |

さて皆様上記例文をサッと中国語文に変換できましたでしょうか？

下記は上記例文の中国語文です（あくまでも一例文です。他の表現も有りますので）

例文Ⅰ；

- | | |
|--------------------|--------------------|
| A1;暑假 过得 怎么样？ | B1;过得 很 愉快。 |
| A2;你 去 哪儿 了？ | B2;我 去 北海道 了。 |
| A3;你 是 跟 朋友 去 的 吗？ | B3;不, 是 跟 家里人 去 的。 |

例文Ⅱ；

- | | |
|--------------|----------------|
| A1;你 在 做 什么？ | B1;我 在 写 报告 呢。 |
|--------------|----------------|

A2:还没写完吗？

B2:还差一点儿。

你写完了吗？

A3:早就写完了。

B3:真羡慕！

中国語文を見れば経験豊かな会員の皆様にはいとも簡単な事と推察いたします。しかし、新月曜クラス授業の目玉はこの簡単極まり無い事を実際のロールプレイを実施する事で“頭で学ぶ”だけで無く“体で覚え・即座に利用できる”レベルにブラッシュアップを目指します。“できる・つたわる中国語”が新月曜クラスの肝・コンセプトです。

私自身も当初は休止中の旧月曜クラスが復活したので“従来の担当曜日だから何となく窓口をしなければならないのかな”程度で参加しましたが、4カ月1クールを3回（1年間）経験し、今まで満身に聞取りが出来ていなかった火曜・木曜クラスの授業も以前より聞取りのレベルが若干向上したような気がしています（皆様のレベルには程遠いですが）。

中国語を学ぶ目的は皆様各人各様で（歴史や文化を知る、ボケ防止、映画・TVドラマや音楽を楽しむ、現地での生活の準備をする等々）。

折角中国語を始めたからには少しは中国語で会話ができる様になりたい・基礎を再度学び直したいとお考えの方は新月曜クラスを体験ください（1回500円・1回でもOKです）。

江戸時代のオランダ語通詞の育成は“親が子を毎日オランダ語の素読をさせたそうです。

意味は解らずとも素読で音（発音）を体に沁み込ませる。体で慣れる“方法だとか。私達も“何度もロールプレイを実施し体に沁み込ませましょう”新月曜クラス参加で。

【新月曜クラス参加で、听不懂から听得懂の中国語を自分の物に】

行ってみたいな??!!

台湾東海岸ローカル列車と駅弁の旅

渡邊 敏行

東海岸ローカル鉄道の終着は高雄駅

花蓮、台東など東海岸の主要駅を経由した時計回りで終着駅の高雄へ到着。台北ー花蓮（ファレン）間は人気の日本製特急列車で。

のどかな車窓と駅弁を楽しみながらゆったりと回る台湾の東海岸ローカル鉄道の旅。すばらしい思い出になること間違いありません。



台湾の東海岸に行く鉄道は西海岸のように高速鉄道が走っていませんので、ローカル列車を使っでの移動となります。

ただ、台北ー花蓮（ファレン）間は人の行き来が多いため、自強号という特急列車のほかに日本製の車両を導入した太魯閣（タロコ）号や普悠瑪（プユマ）号が運行しています。これらの車両は、カーブの走行でも客車を安定させることができる振り子システムを導入していますので、乗り心地が抜群でとても人気があります。

台北ー花蓮間は約2時間から2時間30分かかりますが、途中、風景の変化に富んだ東海岸沿いに走りますので、駅弁をつつきながら移り行く車窓を楽しむには最高です。

ちなみに、太魯閣（タロコ）号と普悠瑪（プユマ）号は人気があるため、どうしてもこれらの列車に乗りたい場合にはネットでの事前予約・決済をお勧めします。

す。

台湾にはベジタリアン(菜食主義者)の方が多く、街なかでもベジタリアン用のレストランをたくさん見かけます。

駅弁もベジタリアン用のものがごく当たり前にラインナップ、それらは肉や魚を使わず、大豆やタケノコ、山菜を中心とした野菜類だけでつくられており、「素食弁当」と呼ばれています。食材がシンプルなだけに味つけや盛り付けは工夫が凝らさせているので、肉を使ったお弁当には見られない繊細さを感じることができます。

台湾の米どころ、池上で駅弁の元祖を食べておきたい



池上は台湾東部の米どころで、駅弁発祥の地としても知られています。駅弁の一番人気は元祖池上弁当で、「正宗池上飯包」と呼ばれています。木製の弁当箱に池上特産の白米、そして上には豚肉の醤油煮、シヨウガ、煮玉子、野菜の炒め物など数種類のおかずがのせられています。おかずを乗せることで白飯の乾燥を防ぎ、また木製のお弁当箱が余分な水分を吸収するので、冷めてもおいしさが保たれるように工夫されています。

台 11 線。台湾で最も美しい海岸

台 11 線は、花蓮県南埔から台東県美和に至る台湾省道であり、「花東海岸公路」の別称で呼ばれる。

周囲を海に囲まれた台湾は、あちらこちらの海岸線も個性豊かな特色に富んでいます。けれども、台 11 線ほど自然でナチュラルで美しい海岸線はないでしょう。東部の台 11 線は台湾で最も美しい海岸線と言われています。

南迴公路を巡り台東へ来ても、北部から東海岸へ南下しても、眼前に出現した海を見た瞬間、東岸の山脈の険しさ、青味がグラデーションをなす海面に、だれもが感嘆の声を上げるでしょう。屹立する絶壁、雄々しく壮大な海は息を飲むほどです。

台湾で最も美しい海岸

旅の目的がなんであろうと、東海岸では足を止めたくなる観光スポットが必ず見つかります。

それぞれのニーズと計画に基づき、美食、生態、地質、海洋文化、歴史人文等それぞれの形態の旅プランをアレンジしましょう。

長い海岸線と黒潮は豊富な漁獲をもたらします。シーフードは花東の旅で重要な役割を演じるプレイヤーです。富崗と成功漁港は台東の二大漁港で、ここでは新鮮な海産物に舌鼓を打つことができます。

東海岸特殊景観

東岸はユーラシアプレートとフィリピン海プレートがぶつかってできた陸地で、海蝕溝、海蝕ノッチ、海蝕柱、豆腐岩、岬、柱状火山岩体、蜂の巣岩、海岸の珊瑚礁等奇岩怪石が

多く、天然の地質教室のようです。自然、潮間帯、地質に興味がある方にお勧めのスポットは小野柳、石雨傘、三仙台、烏石鼻漁港などたくさんあります。



加路蘭休憩区

加路蘭の漂流木インスタレーションは、志航基地の廃棄土置場を改修した休憩区に花を添えています。ここは視界が開け、波の音に耳を傾けながら海を眺め、アミ族の聖なる山ー都蘭山を遠くに望むことができます。

加路蘭手創バザールは、クリエイティブな手仕事人と地元の芸術クリエイターが交流できるプラットフォームとなっています。



水が上に流れる奇観

東河郷にある「水往上流」はよく知られた観光スポットで、休日には小さな溝の水が上流へと流れる奇観を見ようと大勢の人が詰め掛けます。近隣の東河旧鉄橋は時代的な意義がある場所です。河口ではおだやかな流れが大海へと向い、海と空が一つに融けあう様子はたおやかな心地にしてくれます。



新東糖廠文化園區

都蘭ののどかな生活リズムと芸術文化の息吹は、台湾島内からたくさんの移住者を惹き付け、さらには日本人など外国人の定住を呼び込んでいます。彼らはここでのんびりリタイヤ生活を楽しんでいるのです。都蘭の登山道、月光小棧、都蘭新東製糖工場、周辺の特徴ある民宿、小さな店、都蘭のアミ族出身歌手—Suming。これらはどれも都蘭のすばらしさを倍増させています。

金樽休憩エリア

金樽休憩区へ上れば、金樽湾を俯瞰できます。遠方の陸連島、泡立つ白波は、通り過ぎるだけではあまりにも惜しい絶景です。腰掛け、コーヒーを一杯。海を眺め、潮風に吹かれ、波の音に耳を傾け、静かな一時を楽しみましょう。



水族生態展示館

教育的意義のある親子の旅をお望みなら、成功の台東海洋生物展覧館にお越しください。ここは、屏東車城海生館ほどの規模はありませんが、東部で極めて重要な海洋生態展示の中心です。

夕方は東部最大の漁港-成功漁港へ行ってみましょう。魚市場の熱気を感じながら、新鮮なシーフードを楽しむことができます。ホエールウォッチング船の出航もここからです。

東海岸の細長い遊憩帯には、それぞれ特色ある観光スポットが散らばっています。それぞれの風情と美をその目でお確かめください。

花蓮「天然の美」

海あり山あり、多彩な文化を持つ太陽の里「花蓮」へ ようこそ。

花蓮と言えば、まずタロコ国立公園を訪れたい。タロコ峡谷は垂直に切り立った勇壮な大理石の峡谷で知られる。断崖に相对しながら川沿いの道を進むと、岩肌を削り取った隧道に出くわす。スリリングなドライブが楽しめる。

そしてもう一つの人気スポットは七星潭。七星潭は高みから見下ろすと半月型の美しい湾である。ご来光・黄昏時の散歩・夜間の星空観察など見所は尽きない。近年七星潭の星空広場、海岸自転車道などの施設が整備されている。

海岸山脈と中央山脈の間に連なる細長い谷が、いわゆる花東縦谷である。茶畑・果樹園・田んぼ・牧場と続く一面の田園風景が当地の魅力。または花東縦谷はアミ・ブヌン・タロコなど六つの台湾原住民が集中する地区でもある。旅先では、原住民風味の食事や豊年祭などの祭事に触れてみたい。

風景を満喫したら、花蓮市内を巡ってみよう。客家・原住民料理を食べ歩き、史跡を巡ってみよう。鉄道文化館やかつての酒場をリニューアルした珍しい文化施設がある。花蓮では、大自然と文化の美をともに堪能できる。







三貂角灯台(台湾東北角)

台湾の最東端に突き出た三貂角は雪山山脈の北にあたり、山脈に沿った岩層が独特な地質的景観を与えている。

三貂角灯台は1935年に建設され、海岸の傾斜上に聳え立ち、高さ16.5メートルで、「台湾の眼」と呼ばれている。舶来のクリスタルガラスをランプの材質として用いている。第二次世界大戦時に爆撃で損壊し、その傷跡が今も残る。その光は白が24.5マイル、赤が20マイルの遠さには及ぶ。太平洋に突き出た岬の為、航海の重要な目印となっている。また観光名所ともなっている。三貂角灯台へは馬崗付近の分岐路から標示に従って上がる。



台湾北部では参観出来る唯一の灯台。青い海に純白の灯台が映える風景は結婚写真に人気のスポットとなっている。

参観時間：火曜一日曜(祝日を含む)
日曜隔週休館) 09:00~16:00

布洛灣

布洛灣は台湾の原住民の中で、人口が二番目多く、居住範囲が一番広いタイヤル族の言葉である。エコーと言う意味、昔からタイヤル族の旧部落であった。布洛灣の崖から燕子口へ向って大きな声で叫んだら山谷に廻るエコーがはっきり聞こえることによって名づけられた。

今の布洛灣は立霧溪の旧流路の消失後に堆積物を受けながら取り残されて生ずる堆積地形。環流丘陵とも呼ばれ、この事例は日本で大井川、奈良川など知られている。毎年の四月に台湾特有種のユリは布洛灣の周辺に咲き乱れ、春爛漫をいっぱい満喫出来る。

いまでも布洛灣はタイヤル族の文化があふれている。また、陶器や石斧などを発見しており、有史以前の遺跡があるところとしても知られている。レジャー区となつてからは伝統的なタイヤル族の家屋のほかに、円形劇場、毎日紡績と織物の実演が行われるタイヤル工芸展示館などが完成している。

布洛灣の地形は台地であるが、上と下の台地に分けられている。ここの海拔は 370m、年の平均気温 21.5 度、上下の 2 段台地には熱帯植物が生い茂り、様々な動物が棲息している。

上の台地には立德布洛灣山月邨と言う原住民の住まいのようなコテージ式のリゾートホテルがある。話しによれば、ここはタイヤル族の集落跡に作った施設である。

コテージの裏に広がる森には 300m 位の景観歩道がある。夏は虫の鳴声が入りこみこの歩道は朝に猿が現れることもあるそうである。本当に大自然に触れ合う気持ちの良い場所である。下の台地には 450m のハイキングコースがあり、円形劇場の右から中部横貫道路まで続いており、途中ガジュマルや楠などが観賞出来る全ての写真は下記からご覧いただけます

蘇花公路



蘇花公路は蘇澳と花蓮を結ぶ全長 118 km の臨海道路で、1925 年より 14 年の歳月を費やし、多くの犠牲者を出して完成したものである。当時は台湾の西部と東部を結ぶ唯一の陸上輸送のルートであった。

北回り鉄道が 1980 年 2 月に開通するまでは、台湾西部と東部花蓮間の交通は少数が基隆、蘇澳よりの海上輸送に頼るほか、ほとんどがバス又はトラックでこのハイウェイを通過していたが、鉄道開通後はお株を鉄道に奪われてしまった。

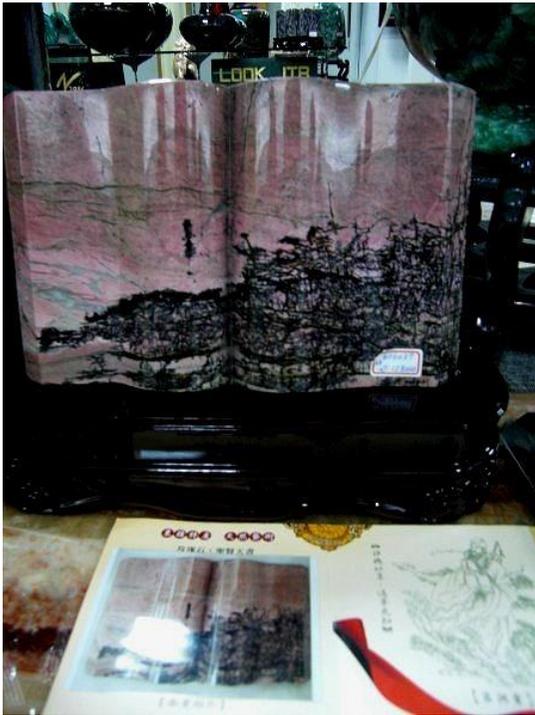
それでもこのハイウェーの絶景とスリルにあこがれて、車で蘇花公路を走る旅客もいる。途中、千仞の断崖から眼下に太平洋の紺碧の波濤を望み、時には緑の幽谷を通過して、素朴な山地原住民の部落に入り、時にはうっそうとしたジャングルの中を通り、またひろびろとした原野を疾走するなど、変化に富んだ風景を楽しめると共に、スリル満喫できる。

花蓮から北上して、途中に崇徳というトンネルを通るが、このトンネル北口の近くに、全長320mの遊歩道には二つの展望台と化粧室一つある。展望台に佇めば、太平洋と清水断崖を一望の下に収める事が出来る。この遊歩道の石段に沿って15分ほど下へ降りれば、浜辺たどり着く。

この崇徳から和平まで約20kmの間には蘇花公路において最も険しく壮観な蘇花公路の大断崖のうち、垂直に切り立ち、もっとも豪壮な景観を呈しているのが清水断崖で、長さが21kmもある。ハイウェーは海面から100mの断崖の上であり、もっとも高い地点は海面より800m(清水断崖付近)で、車がここをフルスピードで走るのとはなんとも言えない痛快さを感じる。「世界一の臨海道路」と折紙をつけられたこのハイウェーを時間に余裕のある方はぜひ一度訪れて下さい。

花蓮 光隆鉱石博物館(光隆宇宙樂園)





花蓮 吉安慶修院

花蓮吉安郷(旧吉野村)は日本時代に建設された最初の移民村である。街道沿いには往時の面影を残す日本風の民家や煙草作りの小屋が残っている。

1917年に「吉野布教所」が設置された。これが現在の吉安慶修院である。

当所は移民たちの信仰の拠り所となったほか、敷地内に診療所・教会・葬祭場などが設置され、事実上、村民のコミュニティセンターだった。

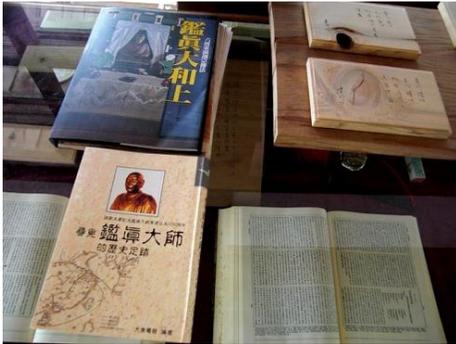
当時「布教所」には弘法大師・不動明王及び毘沙門天が祭られ、建物の外形は本山の高野山の様式が取り入れられた。礼拝堂の周囲には回廊が敷かれ、庭園には色とりどりの花や木が植えられていた。

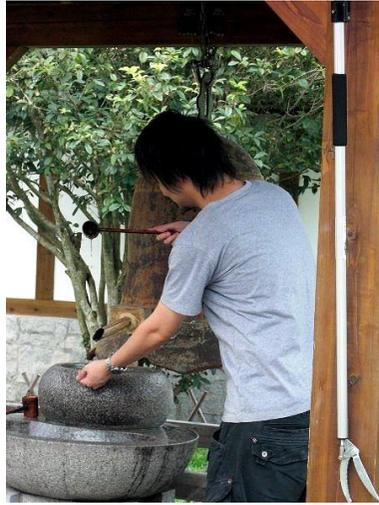
大戦後、布教所は住民の管理に委ねられ、お釈迦様と観音様が祭られるようになった。

2003年に慶修院の修復工事が行われたのを契機に、庭に放置されていた88の仏像が現状に復元された。台湾東部ではもっとも保存状態のよい日本時代の寺院であり、最近では観光名所としても注目されている。

日本時代で最初の官営移民村となった「吉野村」は現在の花蓮吉安に設置されていた。

1910年に発足した「荳蘭移民指導所」が契機となって、四国徳島から大量の移民が進駐してきた。故郷の近くを流れる悠久の吉野川に因んで、「吉野」と名づけられた。集落は防衛上、管理上の便宜から一箇所にあつまられており、その中心に高さ三メートルの記念碑が建てられ、中川総督が揮毫した「拓地開村」の四文字が刻まれた。これが現在の吉野開村記念碑である。





台湾のナポリ蘇澳港

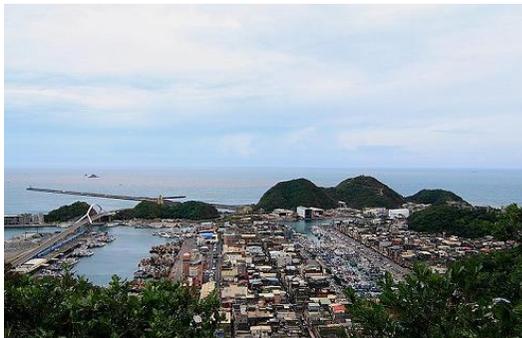
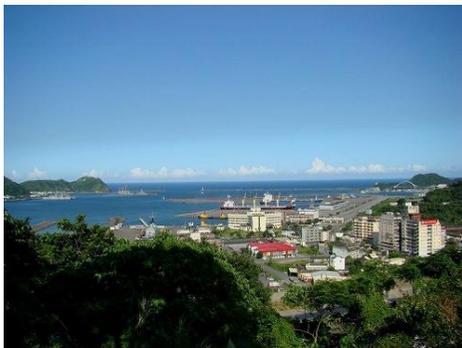
蘇澳鎮は北回り鉄道で台北から 120 キロ、自強号特急で約 2 時間掛かる。

蘇澳港は西、南、北の三方を山に囲まれ、東だけが海に面し、静かな紺碧の海と白浜のビーチが構成する美しい港湾の景色はイタリアーのナポリ海岸によく似ていると言われている。

港湾の面積が 362 万平方メートルもあり、基隆国際港よりも広く、港内が深いので 1 万トン以上の船舶が入り出出来る。そのため、基隆国際港の補助港として、1974 年 7 月より大型商港の建設に着手し、1979 年に完成開港された。

蘇澳の南方 1 キロにある南方澳は台湾三大漁港のひとつで、1922 年に築港されたもの。現在では一度に千艘の漁船が停泊出来る。海岸から鰻のしらすが取れる。

蘇澳は漁港である以外に工業地区でセメント、ソーダなどの大工場がある。





布洛灣

布洛灣は台湾の原住民の中で、人口が二番目多く、居住範囲が一番広いタイヤル族の言葉である。エコーという意味、昔からタイヤル族の旧部落であった。布洛灣の崖から燕子口へ向って大きな声で叫んだら山谷に廻るエコーがはっきり聞こえることによって名づけられた。

今の布洛灣は立霧溪の旧流路の消失後に堆積物を受けながら取り残されて生ずる堆積地形。環流丘陵とも呼ばれ、この事例は日本で大井川、奈良川など知られている。毎年四月に台湾特有種のユリは布洛灣の周辺に咲き乱れ、春爛漫をいっぱい満喫出来る。

いまでも布洛灣はタイヤル族の文化があふれている。また、陶器や石斧などを発見しており、有史以前の遺跡があるところとしても知られている。レジャー区となってからは伝統的なタイヤル族の家屋のほかにも、円形劇場、毎日紡績と織物の実演が行われるタイヤル工芸展示館などが完成している。

布洛灣の地形は台地であるが、上と下の台地に分けられている。

ここの海拔は 370m、年の平均気温 21.5 度、上下の 2 段台地には熱帯植物が生い茂り、様々な動物が棲息している。

上の台地には立德布洛灣山月邨と言う原住民の住まいのようなコテージ式のリゾートホテルがある。話しによれば、ここはタイヤル族の集落跡に作った施設である。(ホテルのWEBは下記通り)

コテージの裏に広がる森には 300m 位の景観歩道がある。夏は虫の鳴声すごいこの歩道は朝に猿が現れることもあるそうである。本当に大自然に触れ合う気持ちの良い場所である。

下の台地には 450m のハイキングコースがあり、円形劇場の右から中部横貫道路まで続いており、途中ガジュマルや楠などが観賞出来る



花蓮の太魯閣峽谷

花蓮市は台湾東部最大の都市で人口 10 余万人、大理石の町として知られている。気候が温和で、緑の多い健康的で人情味に厚い町。

花蓮県は台湾 16 県の中で一番面積が広く、物産が豊かで地下資源も豊富にあり、開発の途中にある。特に大理石の埋蔵量が非常に多く、あちこちに大理石の工場が点在している。

花蓮港は台湾四大国際港のひとつで、二万トン級の船舶が横付け出来る設備があり、大理石製品と建築材、木材、パルプ、砂糖、農産物とその加工品、手工芸品などを輸出している。

空路で台北から花蓮へは 40 分かかり、TNA(復興航空)の国内航空便が毎日 6 往復あり、日帰りの観光が出来る。

陸路では台北から花蓮まで特急列車が頻繁に出ている。その中で、太魯閣列車が一番早く、約 2 時間掛かる。

花蓮の観光ハイライトと言えば、まずタロコ峽谷が取り上げられると思う。

台湾最大の景勝地太魯閣(タロコ)峽谷は、昔のタイヤル族の勇敢な頭目タロコの名前から名づけられ、中国語で太魯閣と呼んでいる。先第 3 紀の大理石で構成された目もくらむような険しい大峽谷がえんえん 20 キロも続いている天下の絶景で、台湾観光の外国人旅客の大多数がここを訪れており、国際的に有名な観光地である。

タロコ峽谷一帯の広大な山岳地帯を台湾第四番目の国立公園に指定されている。タロコ峽谷の入口は花蓮から 25.5 キロ、立霧溪の河口に当り、ちょうど蘇花公路と東西横貫公路の交差点にある。入口は大理石の岸壁をくり貫いて作られ、竜のノドのような格好をしている。ここに「東西横貫公路」と書かれた朱塗りの中国式アーチがあり、観光客にいよいよここから秘境に入るといったイメージを強く与え、見知らぬ秘境に入る観光客は胸の騒ぐのを覚える。

入口から西へ進むと大理石の大断崖をえぐって作られた道路が左右に曲折し、立霧溪の澄み切った溪流が岩を噛んで、こんこんと流れ、山容水姿の豪壮な様は筆舌に尽くしがたいものがある。入口から次々と走馬灯のように目の前に繰り広げられる景色を順を追って一つ一つ紹介しよう。

長春祠：仙霞と名づく長いトンネルを出るとすぐ長春橋(鉄骨の橋)で、視界が急に広がり長春に着く。ここで小休止する。対岸の断崖に大理石の1枚岩の絶壁の割れ目から、長春瀑布(滝)がごうごうと音を立てて流れ落ちている。山麓には長春祠と言う建物があり、東西横貫公路建設工事の殉職者212名を祭っている。

溪畔：溪畔はその名の如く立霧溪の畔で、立霧地下発電所のダムがある。日本時代、1940年にこのダムの工事が始まり、4年間の歳月をかけて、1944年に完成した。言い伝えによれば、ダム工事用の車を通らせるために道路が作られた。これは東西横貫公路の前身と言われている。

燕子口：燕子口はタロコ峡谷の一番狭い所で、対立する断崖絶壁の間隔が僅か16メートル。何万年もの長い間の風雨や洪水の浸食によって、この断崖が構成されたものである。ここがタロコ峡谷のハイライトであると言われ、最もすばらしいところ。旅客は車から降りて徒歩で約200m歩き、偉大な大自然の景観をゆっくりと観賞することが出来る。絶壁のところどころに洞穴があり、そこに燕が巣を作っているのが、燕子口が名づけられた。一昔前は春秋の燕のシーズンともなれば、燕の群れがこの上空に群がってチーチーと鳴きながら、ところ狭しと飛び交ったが、最近は少なくなった。

酋長の顔：橋に着く手前に酋長の顔に似た岩が見られる。標識があるので、すぐ分かる。川岸の向いの川底右上にあり、目鼻立ちが似ているうえ、頭上は草が生えて頭髪のように、さすがに神の造作と言える。

錐麓大断崖：天にとどくような錐麓大断崖を仰いで見ているうちに目が眩み、体までがふらふらになって、いまにも崩れやしないかとひやひやさせられる。空を見上げると、峡谷上空の空間があたかも台湾島の如き輪郭を呈している。

九曲洞：九曲洞には曲折したトンネルが続き、その奇景と難工事はトンネルの壁に刻まれた詩「如腸之廻、如河之曲、人定勝天、開此奇局」。(腸の如く廻り、河の如く曲がり、人必ず天に勝ち、この奇局を開く)によく表現されている。

合流と慈母橋：合流はタロコ峡谷の入口から17キロ、西溪と立霧溪の二つの溪流が一つに合流したところで、静かな谷間に青々と茂った林、川床に積み重なった大小さまざまな大理石、大理石造りの慈母橋、慈母亭(故蒋介石総統の母王太夫人を記念して作られたあずまや)と蘭亭が周囲の流れや岩石と巧みに調和して、実に美しい景色である。

天祥：天祥はタロコ峡谷の入口から19.4キロ。ここがタロコ峡谷のキーポイントで、海拔480メートル、峡谷内で一番広い所である。天祥の地名は宋末の忠臣、「正気歌」を作った文天祥を記念して名づけられたもので、文天祥の銅像と正気歌を彫り込んだ記念碑が山麓に建てられてある。その向い側の山腹に祥徳寺と中国の哲学者孟子の母を記念するあずまや「孟母亭」がある。祥徳寺は天祥から普渡吊橋を渡って、石段を百十段を登りつめた山腹にあり、文天祥の徳をしたうという意味から名づけられたお寺で三宝菩薩を祭っている。祥徳寺の脇にある朱塗りの美しい七重の天峯塔には地藏様を祭っている。





東北角海岸---龍洞湾公園

龍洞湾は断層が陥没してできた湾で、東北角海岸では最大の面積を誇ります。その名のごとく、龍がとぐろを巻いているような海岸線です。澄んだ海水には豊富な生態が見られ、潜水して海底を觀賞するには格好の場です。ここには約 25 科 80 種の魚類が生息しています。ベラ科、チョウチョウウオ科、スズメダイ科、ハギ科などが多く、特に様々な色のスズメダイは目を楽しませてくれます。



亀山島

中国大陸からやってきた亀山島の最初の住人は、初めは亀山島を台湾本島と思い込み、後には島の周囲に豊富な漁獲資源があったことから定住を決めたと言われる。最盛期には 150 世帯、人口 700 人余りに達したが、毎年繰り返される台風の被害を逃れるため、1967 年集団で宜蘭県大溪に移住した。同年亀山島は正式に軍事管区となったが、宜蘭県政府と地方代表の働きかけにより、2000 年政府はようやく亀山島の観光化を認可し、亀山島は東北角・宜蘭海岸国家風景区に指定された。また亀山島は海洋生態公園として上陸人数が制限され、これにより環境への影響を抑えつつ、観光客も神秘的なベールに包まれた亀山島を訪れる機会を持てるようになった。

台湾でイルカウォッチングと言えば花東地区が有名だが、亀山島でもイルカウォッチングが近年盛んになっている。亀山島は沖縄海溝の縁に位置するため、南方とは違う種類のイルカが見られ、ハシナガイルカが最も多い。

現在亀山島は 1 日当たりの上陸人数が平日 400 名、休日 500 名に制限されており、観光客と団体(30 人以上)は上陸の 20 日前に申請しなければならない。



新城駅



花蓮駅

[太魯閣国家公園](#)に最も近い駅です。

新城郷は花蓮の北側に広がるエリアです。新城駅は郊外にあるため駅の周りには閑散としており広々とした空間になっています。太魯閣へ向かう際は新城駅が一番近い駅となっています。

花蓮以南は非電化なので「太魯閣号」の運転はこの駅まで。

旅行好きの人にとって、駅は旅の玄関口、その土地の第一印象ともなる地点です。花蓮駅はまさに花蓮探索のキーポイントです。花蓮駅は最新型特急列車である太魯閣号の終点駅でもあります。振り子式電車でスピードも速く、見た目もカッコよくて、花蓮観光のお客さんにとっても人気があります。駅での停車時には、新旧の列車を見比べることができ、楽しさも倍増です。

ホームを出た地下道には花蓮の観光名所を紹介する電光写真が飾られており、花蓮の美しさを感じることができるとでしょう。駅に隣接されたバロック建築風の旅客服務中心（トラベルインフォメーションセンター）では花蓮旅行に関するさまざまな資料が用意されています。わからない事などあれば、ぜひ活用してみてください。

池上駅

池上はお米の名産地です。

池上郷はその昔「新開園」と呼ばれていました。緑豊かな田園や連なる山々、青い空に白い雲、のどかで美しい風景が広がります。お米の産地として有名な池上郷ですが、そのお米は大波池から水を引き稲作を行っています。「池上便當弁当」は、ここの名物。駅前広場と中正路便當街は整備され、ますますたくさんの人が訪れる地となりました。

「弁当！ 弁当！ おいしい弁当！」— 池上駅ではこの声が聞こえると、乗客は我先にとお弁当を求め列車の窓やドアから身を乗り出します。この池上弁当は乗客のおなかを満たすだけでなく、旅の良き思い出にもなりますね。

台東駅

駅入り口には原住民の伝統工芸オブジェが並びます。

台東駅は卑南文化園のエリア内に位置していて、卑南文化を基にしたデザインでまとめられています。駅前ではタクシーも多く、レンタカーもあるので、交通の便もよい駅です。駅のインフォメーションセンターでは台東の観光ガイドなどが手に入ります。ぜひ活用してください。



知本駅

駅前の様子。

温泉地としても非常に有名で、その温泉をお目当てにやってくる旅行客も少なくありません。



知本駅は南廻線の中で最初に整備された駅で、南廻線沿いの観光拠点として、多くの観光客が集まります。東海岸の美しい景色だけでなく、駅前ではタクシーが列をなしており、レンタルバイクのお店やバス停も整っているので、交通は比較的便利と言えるでしょう。

太麻里駅

南国ムードの漂う駅舎内。



「太麻里」とはパイワン族語で【Ja.Bau.Li】（チャバリィ）と言います。太陽がさんさんと輝き作物がよく育つ土地という意味で、「日昇の里」とも呼ばれています。2000年1月1日には太麻里郷役所が中心となり、テレビ局の協力の元、世界25カ国に日の出の様子が中継されました。駅前の曙光大道はまさにその時を記念したものです。

駅前から前方には見渡す限り果てしなく海が広がり、そのはるか彼方には緑島や蘭嶼など離島が望めます。果てしなく続く海岸線に青い空、青い海、きれいな砂浜、太麻里の美しい風景は忘れられないシーンとして記憶に残ります。

太麻里駅は海岸にとっても近いので第2ホームからは大海原が望めます。そしてなぜかわからないのですが、太麻里にはスズメがたくさんいます。スズメまでもが旅行客を出迎えてくれているのでしょうか？ホームのベンチに座って海を眺めながら心地よい海風を感じ、スズメのさえずりを聞く……。列車を待っている時間さえ素敵な一瞬になってしまいます。

金崙駅



パイワン族の歓迎の言葉「瑪哩瑪哩瑪沙魯」金崙駅は台東県太麻里金崙村にあります。金崙から海岸沿いにかけて、南迴線のなかで一番長い高架橋があります。海に近いので、橋の通行中に見下ろすとまるで、海の上を走っているような感覚になります。駅構内は色とりどりの椅子が置かれています。また駅前にはパイワン族語で「瑪哩瑪哩瑪沙魯」と歓迎のメッセージが大きくかかげられ、情熱的な雰囲気伝わってきます。

付近の南迴公路から。橋梁を渡りホームへ入っていく莒光號。

林邊駅

小さな商店や病院などが並び生活感溢れる駅前の様子。

林邊駅は[大鵬灣風景地区](#)へのアクセス地点となります。毎年11月から翌4月までは黒珍珠（蓮霧の品種）シーズン、4月から7月までは東港の黒マグロがシーズンを迎えるため、どの時期に来てもらいたいのにぎわっています。東港で新鮮な魚介類を楽しみたい方は、ぜひ、列車

に乗って林邊駅まで足を運んでください。

小琉球島内の交通

小琉球は周囲およそ16kmの小島ですので、レンタサイクルで回るのがよいでしょう。レンタサイクルは港から徒歩約5分のところにある琉球郷旅遊諮詢中心（ビジターセンター／琉球郷立図書館に併設）で斡旋してくれます（英語可）。なお、船着場にはレンタルバイクの客引きもいますが、一般的にレンタルバイクには保険がついていませんのでご注意ください。

※琉球郷旅遊諮詢中心には日本語のガイドマップがあります。



孔子の思想(教え)として論語の記述から見てゆくこととします

zǐ yuē xuéérshíxízhī bù yì shuō hū

- 子曰、学而時習之、不亦説乎。

yǒu péng zì yuǎn fāng lái, bù yì lè hū

- 有朋自遠方來、不亦樂乎。

rén bù zhī ér bù yùn, bù yì jūn zǐ hū

- 人不知而不愠、不亦君子乎。

◇ 子曰く、「学びて時にこれを習う、亦(また)説(よろこ)ばしからずや。

◇ 朋(とも)あり遠方より来る、亦楽しからずや。

◇ 人知らずしていきどおらず、亦君子ならずや」(学而)

◇ いにしえの良き教をを学びそれをいつも実践する、それこそ喜びである。

◇ 朋(同じ教をを研究、学習する人)が遠くからでもいとわずにやって来る、それは実に楽しいことである。

◇ 他の人が自分を正しく知って(理解して)評価してくれなくても、心に不満をいだいたり、まして怒ったりはしない。

それこそ君子である。

◇ 孔子にとっては、学ぶことそのものが楽しく喜ばしいものであったのです。

良き(正しい)教をを理解できない他の人々の評価は二の次である、一々気にすることは無いと言っています。

◇ 子曰く、「これを知るをこれを知ると為(な)し、

知らざるを知らずと為せ。

是(こ)れ知るなり」(為政)

知っていることを知っているときちんと自覚して、

知らないことは知らないとはっきりと知りなさい(無知の知)。

それこそが真に知るということです。

この世に生きている人間には、よく理解出来ることと理解出来ないことが存在します。

孔子は知らないことを知っているように思い込むことを戒めたのです。

ある時、弟子の一人に人間の死について問われたことがありました。

その時の孔子は「いまだに生についてさえよく知らないのに、どうして死について知っていよう」の様に答えています。

上記のものは論語に残されたものですが、

孔子は人(相手)を見て、その人に適した答えを返していました。

あるいは他の時、他の弟子には違った表現を用いて答えを返したことでしょう。しかし、この時の孔子は、知らないことは知らないと自覚する必要性をも説いたと言えるでしょう。

孔子は、人の死について軽んじていたわけでは決してないのです。

死者の霊魂、先祖の霊魂に対する真実（誠）の心を大切なものとして尊んでいます。



jiàorénchījīngderìběngōngcè 叫人吃惊的日本公厕

rìběnrénpíngshírènwéilǐsuǒdāngrándeshì quèyǒuhěnduōràngwàiguóyóukègǎndàohēnchījīng qízhōng
日本人平时认为理所当然的事，却有很多让外国游客感到很吃惊。其中，

rìběndegōnggòngèngxīshǒujiǎnjiùrànghěnduōwàiguóréngǎndònghechījīng
日本的公共洗手间就让很多外国人感动和吃惊。

- quánbùmiǎnfèi rìběndexīshǒujiǎnwúlùnǎlǐdōushìmiǎnfèide zàizhōngguóhéōuměi
1. 全部免费；日本的洗手间无论哪里都是免费的，在中国和欧美
yìxiējǐngqūdōushìshōufèide
一些景区都是收费的。
 - yīnjī liúshuǐyīn hěnduōwàiguóyóukèdōuduì yīnjī de cúnzài gǎndòng àogǎndòng yóuqíshì nǚxìngduì
2. 音姬(流水音)；很多外国游客都对“音姬”的存在感到感动，尤其是女性对
“声音”很在意。
 - shǒuzhǐ rìběnshǒuzhǐderóuyǎndùshìshìjièdiyī zhǐyǒuyòngguòyíci jiùhuìyǒuxiǎngbǎrìběnde
3. 手纸；日本手纸的柔软度是世界第一，只有用过一次，就会有想把日本的
shǒuzhǐmǎihuīgúodegǎnjué
手纸买回国的感觉。
 - kěyǐdiūcèsuǒshǒuzhǐ zhèdiǎnduìrìběnrénláishuǒlǐsuǒ bùguòhěnduōguójiāde
4. 可以丢厕所手纸；这点对日本人来说理所当然，不过很多国家的
shǒuzhǐshìbunéngdǒujìnbìànqǐlǐ huìzàochéngshuǐguǎndǔsè yàobǎyòngguòdeshǒuzhǐdiūdàolājītónglǐ
手纸是不能丢进便器里的，会造成水管堵塞，要把用过的手纸丢到垃圾桶里。
 - xiǎobǎobǎoyǐzi rìběnnǚxìngxǐshǒujiǎnlǐjīhūdōuyǒuxiǎobǎobǎoyǐzi zhèzhǒngfúwùwàihǎiwàihěnnǎo
5. 小宝宝椅子；日本女性洗手间里几乎都有小宝宝椅子，这种服务海外很少。
 - jǐnjǐànlíng rìběndexīshǒujiǎnlǐměijiāndōuyǒujǐnjǐànlíng kěnéngshìyīnwèigāolínghuà lǎorénduō zhēn
6. 紧急按铃；日本的洗手间里每间都有紧急按铃，可能是因为高龄化，老人多，真
dehěnzhōudào
的很周到。
- duìrìběnrénláishuō dōushìlǐsuǒdāngrándepíngchángxiǎoshì duìwàiguórénláishuō
对日本人来说，都是“理所当然”的平常小事，对外国人来说，
shìzhēnxīnwéishǐyòngzhěxiǎngde
是真心为使用者想的让人很感动。

手記：李老師

tipig